

日本共産党徳島市議



へいもと信之議会報告

地域版 2009年12月26日号 徳島市弓町3-6-1 TEL 090-3786-5162 Fax654-7289

路上生活者に手をさしの べ自立を援助

最近の特徴的活動

今年の初め、東京の日比谷公園で繰り広げられた「年越し派遣村」の様子は今の世相を良く現しています。私も何とかしなければと思い立ち、今まで、自然発生的に行ってきた相談活動を、定時定点の相談活動に切り換えました。

相談の多くは、生活保護の申請の援助です。今年だけで28件の相談にのりました。私の議員活動の中で生活保護の援助の話はそう多くはありませんでした。それがここ2、3年急激に増えています。それも、路上生活の相談が多いのです。その方々のお話を聞く中で私の視点も変わりました。それまでは、ご自身に問題があり、やむなく路上生活におちいったと考えていました。

お話を聞くと、それぞれ波乱に富んだ人生を歩んでおられるのです。路上生活を余儀なくさせたのは当人の責任ではないことがよく分かりました。社会がそうさせているのです。

ある60歳代の方は、厚生年金が年数が足りずに受けられないことが要因でした。建設関係の労働者だった方は、仕事がなくなり、アパート代が払えず、路上に放り出されました。測量関係の仕事をしていた方は、極端に仕事が減り、家賃が不払いになり、古くなって建て替えを考えていた家主に、それを幸いに追い出されました。性産業はことが荒っぽいです。ソーランドを雇い止めになったその日に、社宅であったマンションの部屋から、布団や冷蔵庫と共に公園に放り出されたかたもおいでます。(裏へつづく)

路上生活者は、保護を申請しても住むところがなければ、受給できません。アパート探しも大変ですが、捨てる神あれば拾う神ありで、ご近所の3人もの家主が協力してくれています。ありがたい話しです。普通敷金がいります。3ヶ月です。普通は徳島市が負担してくれますが、そうでないケースも生まれます。そんなときにも、敷金を負けてくれたり、家賃に上乗せして月賦で払うことを許してくれます。

私は、生活保護を受けて自立を図っている方には、しんぶん赤旗日曜版を読んでもいただいています。安否確認のためにとっています。週一回配達し、月一回集金に伺うのですから、安否確認にはもってこいです。でもこれは、こちらの勝手な思惑で、読者は実に良く読んでくれます。今まで、情報として赤旗を読むなどと言うことがなかった方ですから、その浸透力は相当なもので、隅から隅までお読みになり、日本共産党への良き理解者になっていただいています。党の戦列に入ってくださる方もおいでます。うれしい限りです。

相談活動では、法律問題も結構多いです。知り合いの弁護士や司法書士に紹介することも多いです。他には、市道、私道の舗装など徳島市に働きかける必要なこともあります。

一市会議員にしか過ぎない私を頼ってくれている方がこれほどまでのおられる以上、健康に留意して、来年も元気に頑張っ参ります。

どんなことでも、まずはご相談を！090-3786-5162にお電話ください。

定時定点の相談は水曜日の午後は八万の古田事務所、木曜日の午前は議会の控室、金曜日の午前は健生病院横の滑北事務所です。

残念ながら水道料金の値上げが決まりました。

12月議会では残念ながら、水道料金の値上げが私たち日本共産党徳島市議団のみの反対で通ってしまいました。

来年4月から、月21立方メートル使用の標準家庭で年間4860円も上がります。

私は市議団を代表して質問に立ちました。

取り上げたテーマは、水道料金値上げ問題。第2期行財政健全化計画。鉄道高架事業でした。

鉄道高架事業については、今まで推進してきた自民公明政権が倒れ、民主党を中心とする政権が生まれ、コンクリートから人へと公共事業が大きく変わる中、事業からの撤退を強く求めました。